

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
社会生活に必要な基礎・基本の定着を図り、自ら学び続ける姿勢を育みます。(知) 学校生活や地域の様々な体験を積極的に取り組む姿勢を培い、個性を伸ばしながら、心身を鍛えます。(体・公) 様々な学び合いを通して、豊かな人間関係をつくる力と、未来を開く精神を育てます。(徳・開)	<自分づくりに関する力>

(2) 中期取組目標

中期取組目標
○自他の違いを認め、尊重し、誰もが笑顔で過ごせる学校をめざします。 ○社会の変化に対応できる、学びの力と姿勢を育てます。 本校では、お互いのよさを認め合い、切磋琢磨しながら、一人ひとりが力を発揮できるような教育活動をめざします。

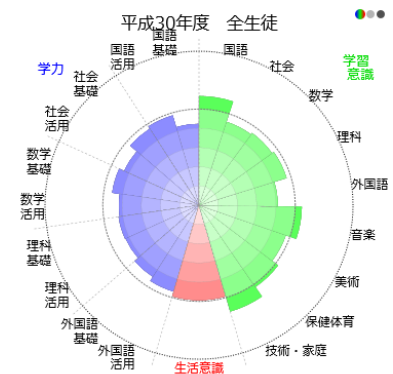
(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
生きて働く知	○自他の違いを認め、尊重し、誰もが笑顔で過ごせる学校をめざします。 ○社会
担当 学習指導部	認め合い、切の変化に対応できる、学びの力と姿勢を育てます。 本校では、お互いのよさを 切磋琢磨しながら、一人ひとりが力を発揮できるような教育活動をめざします。

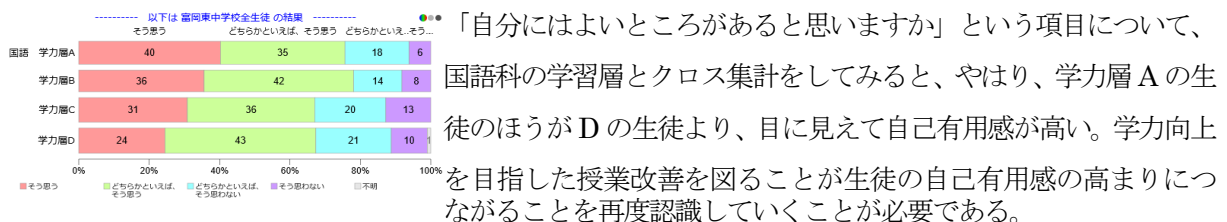
横浜市学力学習状況調査等からの実態把握

(1) 学力の概要と要因の分析

全体的には、横浜市の平均をやや下回っている。国語・英語については、習得した知識や技能を実生活のさまざまな場面に応用する力についてはきていることがわかる。そのぶん長年の課題である基礎基本の定着が不十分なところがあり、今後も課題として取り組んでいく必要がある。あわせて、思考力・判断力・表現力を育成していくことも必要である。



(2) 学習意識・生活意識と学力層とのクロス集計による分析



(3) 「生活意識の分析」

生活意識では、全体的に意識の高まりが見られるが、学校を安全な場所と思っている割合が市の平均を下回る。その原因として、人の気持ちを考えて行動していると答えた生徒が、平均を下回っていることが考えられる。道徳の指導に力を入れると同時に多様な場面で、相手の立場に立つことを学ぶ必要がある。

令和元年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
国語	伝え合うことで自分の考えを深化させる力	○一人ひとりが自分の問いをもち、他者対話しながら、その問いを解決していく言語活動を意図的に位置づける。	○自分の考えを、他者と伝えあう中で、色々な考えや意見に気づき自分の考えを見直し、理解を深め、ものの見方考え方を広げる。
社会	課題に対応する力	○基礎・基本的な知識を身につけ様々な社会的事象について考察し、つながりを見いだすことで、社会的な興味や関心を高める取組を進める。	○身につけた知識を活用し、表現ができるようにしたり、様々な社会的な事象や課題に対して様々な視点から深い学びができるようにする。
数学	課題に対応する力	○基礎・基本的な知識を身につけ、基礎・基本的な計算に課題を持って取り組めるようにする。	○課題解決のために、必要な知識を理解し、自ら取り組めるようにする。
理科	課題に対応する力	○身近な題材で、基礎基本に基づく思考力を定着させ、生徒自身が実験の目的を理解し、意欲的に課題に取り組めるようにする。	○自ら課題を見つけ、解決するための手立てを考え、計画に基づき実験を行うことで主体的に課題を解決する力を身につける。
音楽	自分らしさを発揮しようとする力	○音楽の基本的な知識技能を身につけ、生徒自身が表現したいことを主題にし、表現活動をしていく。	○楽曲を通して幅広い表現活動を行う。また、鑑賞した曲を根拠をもって批評できるように取り組む。
美術	自分らしさを発揮しようとする力	○基本的な技能を身につけ、自分の表現したいことを豊かに発想し構想を練り、創意工夫して制作する。	○感じ取ったことや考えたことなどを基に、豊かに発想し構想を練り、総合的に創意工夫して美しく制作する。
保体	自己肯定感	○自己の課題を発見し、自ら練習方法を工夫し課題を解決していく学習を通じて、達成感を味わうことができるような授業を展開する。	○授業の中での相互評価を通じて、お互いの演技や取組を認め合うことのできる授業を展開する。
技・家	課題に対応する力	○見方・考え方を働かせ、生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、自分なりの最適な解決策を追究する活動を設定する。	○身につけた知識を活用し、自ら課題を見つけ、主体的に課題を解決する力を身につける。
外国語	他者を理解する態度・自己を理解する姿勢	○自己について知り、それを表現できるようにする。また、社会の多様性について気づける場面設定を設ける。	○自己の考えや意見について簡単な英語で伝えることができ、他者に興味をもち、相手の意見や考えについて理解できるようにする。
道徳	他者を理解する態度・自己を理解する姿勢	○人それぞれの固有のよさを認め、自分の優れている面の発見に努めるとともに、それを伸ばしていこうとする活動に取り組んでいく。	○よい所を自覚し、それを伸ばしたり、自分の悪い所を改めていったりすることが、自分自身をよりよくしていく活動に取り組んでいく。
特活	協働的に行動する力	○学校生活や行事を通して、所属する集団の課題を見出し、その解決のために話し合い、合意形成を図ったり意思決定したりする活動を設定する。	○集団として一つの目標を達成しながら成長していくために、自己も他者も尊重しながら様々な課題を乗り越える力を育む。
総合	主体的に社会参画する姿勢	○教科で学んだ知識や技能を活用し、地域社会と関わりながら探求的で協働的な学習が行えるような課題を設定する。	○積極的に社会参画しようという態度を養い、自己の生き方を見つめられるようにふりかえる機会を持つ。
個別級	一人ひとりの教育的ニーズに合わせて取り組む力	○個々の生徒が自立を目指し、障害による学習または生活上の困難を主体的に改善・克服するための知識、技能、態度を養えるような課題を設定し取り組ませる。	○個々の生徒が自立を目指し、障害による学習または生活上の困難を主体的に改善・克服するための知識、技能、態度を養えるような課題を設定し、さらに各教科の連携を図る。